サステナビリティ・マネジメント

コマツは、世界的な気候変動やさまざまな外部環境の変化に対応するため、更なる持続可能な社会の実現と事業の成長の両立を目指した「サステナビリティ基本方針」を策定しています。人、社会、地球と共に栄える未来のために、ステークホルダーの皆さまと重要課題に取り組み、社会に貢献するとともに、社会や外部環境の変化に柔軟に対応できる企業グループとして、コーポレート・ガバナンスの一層の充実を図り、サステナビリティ経営の更なる推進を目指します。

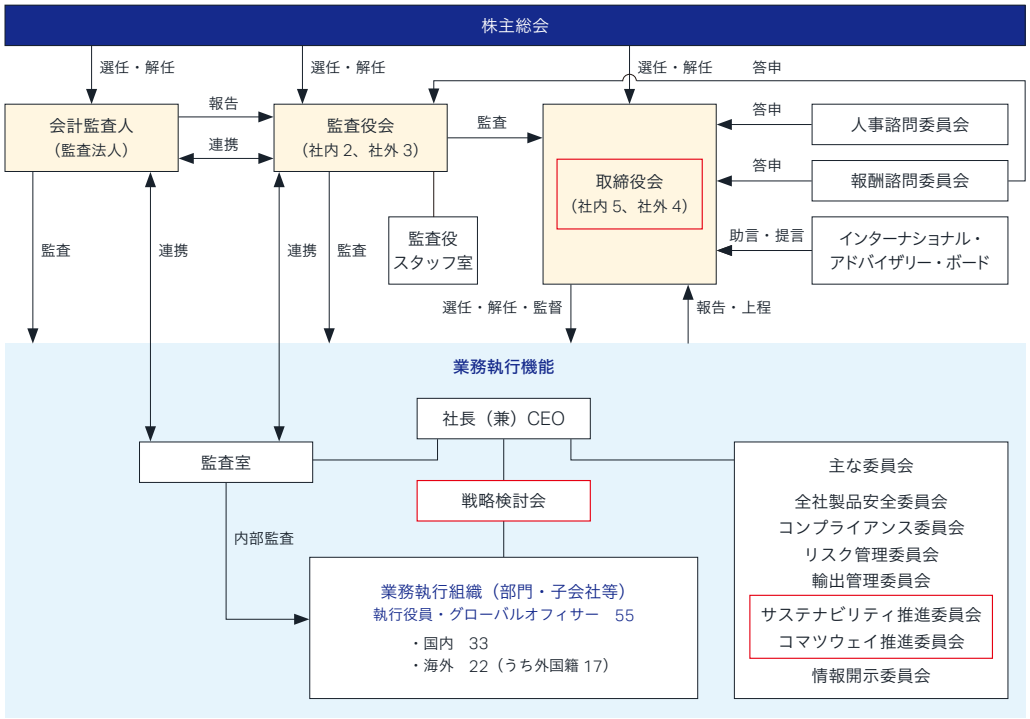
■ サステナビリティ推進体制

コマツは、サステナビリティ基本方針に基づき、人事、労働安全衛生、コンプライアンス、人権、環境などの課題分野に応じ、社長あるいは管掌役員を委員長とし、各事業・機能部門などの責任者から構成される各種会議体を設定し、グループ全体にわたる方針や施策の審議・決定および推進を図っています。具体的には、人事・教育施策はコマツウェイ推進委員会にて、環境や人権などに関わる施策はサステナビリティ推進委員会にて、それぞれ審議されています。また、カーボンニュートラルや脱炭素化に向けた事業戦略などについては、戦略検討会で議論されています。上述の委員会の議論内容や事業戦略については、取締役会で定期的に報告され、審議されています。

また、顧客価値創造により、ESG 課題解決と収益向上の好循環を生み出し、持続的な成長を図ることを基本コンセプトとする当社の中期経営計画において、環境負荷低減やサステナビリティ経営に関する外部評価の指標も経営目標に含めています。さらに、コマツにとっての重要な課題（マテリアリティ）や、SDGs 17 のゴールのなかから当社のマテリアリティと関連性の高い 10 のゴールを選定し、中期経営計画における成長戦略の重点活動と関連付けています。重点活動のなかの 29 の KPI（重要業績評価指標）については、その達成状況を毎年、コマツレポートで開示し、役員報酬にも連動させることで、サステナビリティを着実に推進していく体制としています。

P.35 中期経営計画の KPI

図：サステナビリティ推進体制



* 上記の図は 6 月末日現在のものです。

P.69 コーポレート・ガバナンス体制図

P.76 執行部門の主な委員会

図：2023 年度 サステナビリティに関する主な議題

会議名	開催月	主な議題
取締役会	4 月	• 中期経営計画 活動進捗 • サステナビリティ推進委員会報告
	10 月	• 人材獲得・育成・活躍施策 • グローバルエンゲージメントサーベイ結果報告
戦略検討会	随時	• 気候変動に関連する事業戦略の検討（低炭素製品・電動化製品の研究・開発など）
サステナビリティ推進委員会	9 月	• 人権方針・活動／環境管理施策など
	1 月	• 中期経営計画 活動進捗／次期中期経営計画目標 • TCFD 開示内容／人権対応など
コマツウェイ推進委員会	9 月	• 中期経営計画における人事部門 重点活動の進捗 • グローバルな人事部門の課題と解決の方向性
	1 月	• 中期経営計画における人事部門 重点活動の進捗 • タレントマネジメントの取り組み
リスク管理委員会	随時	• コーポレートリスクの洗い出し・整理（環境・人権など）
執行役員ミーティング	随時	• 経営目標に対する進捗管理